

[ 成果情報名 ] 小型コチョウラン「山梨1号」、「山梨2号」、「山梨3号」の特性

[ 要約 ] 生育の早いコチョウラン新品種として、白地に赤覆輪で香りのある「山梨1号」、小輪多花性で赤紫の花を着ける「山梨2号」、小輪多花性で薄い赤紫の花を着ける「山梨3号」の3系統を育成した。

[ 担当 ] 総農セ・高冷地振興セ・応用育種科・窪田浩一

[ 分類 ] 技術・普及

---

[ 課題の要請元 ]

部門別農業代表者、総合農業技術センター農業技術普及部

[ 背景・ねらい ]

コチョウランは本県の鉢花生産額第1位の主要品目であるが、近年の市況の低迷や産地間競争に生き残るため、生産者からは1年で出荷できるオリジナル品種の育成が強く求められている。そこで、生育の早い小型コチョウランの新品種の作出を目指し、交配育種による新品種育成を行う。

[ 成果の内容・特徴 ]

(1) 「山梨1号」は *Phal.violacea* × *Dor.pulcherrima* の交配から育成した。特性は、花弁が厚く、4cm程度の花を約6輪着ける。花色は白地に赤の覆輪でコチョウランとしては珍しい。花には芳香性がある、4月～7月にフラスコ出しを行うと約1年で出荷できる。(表1、写真1)。

(2) 「山梨2号」は *Phal.equestris* × *Dor.pulcherrima* の交配から育成した。特性は2～3cm程度の花を約20輪着ける。花色は赤紫、花持ちが長い。フラスコ出しから約8ヶ月で出荷できる。また株が充実すると花茎の2本立ちや、花序が2本に分かれる(表1、写真2)。

(3) 「山梨3号」は *Phal.equestris* × *Dor.pulcherrima* の交配から育成した。特性は2～3cm程度の花を約20輪着ける。花色は薄い赤紫で花の下半分がとくに薄い。花持ちが長い。フラスコ出しから約12ヶ月で出荷できる。また株が充実すると花茎の2本立ちや、花序が2本に分かれる(表1、写真3)。

[ 成果の活用上の留意点 ]

1. 「山梨1号」「山梨2号」「山梨3号」は品種登録を行い生産者への普及を図る。

2. 「山梨1号」は温度処理による周年出荷は難しい。

[ 期待される効果 ]

・新品種によるコチョウランの「やまなしブランド」が確立される。

[ 具体的データ ]

表1. 「山梨1号」「山梨2号」「山梨3号」の特徴

交配番号	花蕾数	花の大きさ		ペタルの花色	特記事項
		横径(cm)	縦径(cm)		
山梨1号	5.6	3.3	3.7	白地に赤覆輪	花に香り有り 花弁厚く、表面が滑らか
山梨2号	17.4	3.2	3.3	明るい赤紫	花序枝打ち
山梨3号	20.3	2.9	3.1	淡い赤紫	花序枝打ち 花の下半分の花色が 薄い



写真1. 「山梨1号」



写真2. 「山梨2号」



写真3. 「山梨3号」

[ その他 ]

研究課題名：小型コチヨウランの新品種育成と栽培技術

予算区分：県単（重点化 2006～2008）

研究期間：2006～2013年度